



イベント・シンポジウム等実績報告書 | 配分事業費：270千円

多様な「科学」に関する啓蒙的な複合イベント

目的・趣旨

先端科学に関する啓蒙を目的とした、展示と講演を組み合わせた複合的イベントを、30年度に行った実現性と効果を評価するための試行的なイベントの実績を踏まえて、より効果の高いイベントとして定着させるために、2回目の実施を行う。30年度のテーマである「電磁波（電波、光、放射線等）」と同様に、デザイン教育と関わりの深い科学の分野をテーマとして選定し、図書館の展示スペースを活用して、説明パネルを中心とする展示を行うとともに、展示内容の監修を依頼する学外の専門家を招いたミニレクチャを実施する。

日時・場所

2020年3月31日から2020年5月29日
静岡文化芸術大学図書館内展示スペース

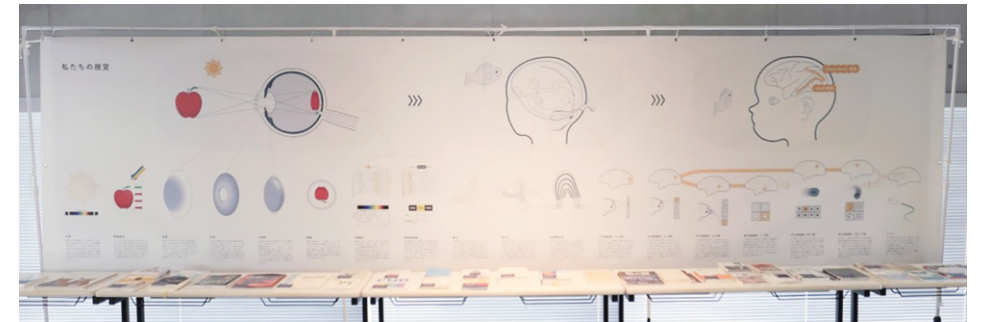
体制

（実施代表者） デザイン学部 デザイン学科 教授 的場 ひろし

共催・後援等

内容

一見すると難しく感じられる科学のトピックスを、デザインの工夫によって分かりやすく、また親しみやすい形で伝えるための試みである「科学とデザイン」の二回目の展示テーマとして、「視覚」を選び、図表の制作と、関連図書の陳列による展示を構成した。我々の視覚は、「眼」と「脳」の複雑なプロセスによって成立している。これらについて、特定の部位の処理を詳述する資料は多く見受けられるが、これらの全体像を把握するためにデザインされた資料は見当たらない状況であった。この展示では、視覚の全体像を、一続きのシーケンスとしておおまかに把握することを目的として、親しみやすいイラストを基調にした図表をデザインした。図表中の「眼」に関する部分は、浜松医科大学 光先端医学教育研究センター 針山孝彦特任教授に、「脳」に関する部分は、玉川大学 脳科学研究所 小松英彦所長・教授に科学的な監修をしていただいた。図表の制作作業は本学大学院生を中心に行われた。



結果・成果

「私たちの視覚」と題した横長図表（約5.2m×約1.2m）を制作し、図書館内の展示スペースに設置した。また、図表の手前にテーブルを置き図書館内の関連する蔵書38冊の陳列を行った。図書館内の展示としたことで、陳列されている図書以外の、さらに専門的な関連図書にも容易にアクセスすることができ、科学に関する理解を深めることができるという利点も得られている。本展示は、多くの図書館来館者（本学学生、教職員、一般市民）に興味を持っていただくために、特に令和2年度の新入生や新たな図書館利用者に対してアピールするために、令和2年度の5月まで引き続き展示を行う予定としている。現時点では、コロナウイルスの影響で図書館の来館者数自体が減り、また学外者の図書館利用が制限されている関係で、展示内容が多くの人の目に触れたとは言えない状況だが、延期されている新学期が今後開始され、また学外者の利用も可能となれば、展示の効果が現れてくると考えている。